

(発 行)

公益財団法人栃木県臓器移植推進協会理事長 太田照男

(編集責任者)

企画委員長 村山直樹

(事務局)

宇都宮市塙田1丁目1番20号 栃木県保健福祉部健康増進課内 TEL028-623-3086 FAX028-623-3920 http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~tochi-zo

『巻頭言』



公益財団法人栃木県臓器移植推進協会

理事長 太 田 照 男

臓器移植推進協会だより第23号(平成24年 度版)の発刊にあたり、一言ご挨拶を申し上げ ます。

関係者の皆様には日頃より当協会の事業運営に対しまして、格段のご指導ご鞭撻を賜り厚く 御礼を申し上げます。

さて、ご存知のように平成22年7月に「改正 臓器移植法」が全面施行され、これにより、本人の意思が不明な場合でも、ご家族の承諾があれば脳死下での臓器提供が可能となり、15歳未満の方の脳死下での臓器提供もできるようになりました。これは、先進各国の法制度や世界保健機関の勧告にも合致することであり、我が国における移植医療が着実に推進されるものと期待が寄せられているところでもありますが、本県におきましても昨年2月に県内初の脳死下での臓器提供があり、その後同様に2件脳死下での提供が、また心停止後の提供が1件ありました。

これらの大半は、ご家族が臓器提供を選択、 同意されたもので、深い悲しみの中でのご決断 に心から敬意を表するものであります。

こういった事例が各種のメディア等を通じて 紹介されることにより、県民の皆さんにも「臓器 移植」「移植医療」が多少なりとも身近なものに なってきているのではないかと感じております。

しかしながら、まだまだ多くの皆様が臓器提供を希望されているなど、わが国の臓器移植は依然として厳しい現状にありますので、今後より一層の啓発活動を地道に実施していくことが

肝要と考えております。

このような中、当協会では、県民の皆様に臓器移植に関するご理解を深めていただくため、昨秋に、県、医療機関、患者団体、ライオンズクラブなどのご協力のもと、県内3箇所で恒例の街頭キャンペーンを開催致しました。その際にお願いしたアンケート調査(意識調査)によれば、「昨今の臓器提供のニュースを知っている」と答えた方が全回答者の91%、また「臓器提供意思表示カードを知っている」と答えた方が90%と、臓器移植に対する理解が徐々に広がってきているものと思われます。

また、小中学生や高校生などに移植医療を通じて命の尊さを学んでいただくための「命の学習会」事業もお陰様で定着し、実施した各学校のたくさんの児童・生徒さんから感動的な、素晴らしい反響などもいただいております。

当協会も昨年4月1日から「公益財団法人栃木県臓器移植推進協会」として新たなスタートを切らせて頂きましたが、より公益性の高い法人としてのその使命を果たすべく、普及啓発活動の充実、更には移植医療の円滑な実施のための事業展開等を、今後とも幅広く行って参ります。

結びに、医療機関をはじめとする関係機関・ 団体の皆様はもとより、県民の皆様には臓器移 植の推進に向けて、更なるご理解とご支援を賜 りますようお願いを申し上げ、ご挨拶とさせて いただきます。

「CKD」って知っていますか?

公益財団法人栃木県臓器移植推進協会では、放っておくと末期腎不全や心臓病、脳卒中などの心血管疾患になりやすいCKD(慢性腎臓病)の認知度を高めるために、積極的にその呼びかけを行っている『CKD啓発動画研究会』と連携して、その普及啓発に取り組んでいます。

以下、同研究会が行っている各種の取組をご紹介します。

CKD 啓発動画研究会 (RAV-CKD) の活動紹介

RAV-CKD代表幹事 安 藤 康 宏 (自治医科大学内科学講座腎臓内科学部門)

「CKD」をご存じでしょうか? このアルファベット3文字の略号はAKBの派生ユニットではなく、慢性腎臓病(Chronic Kidney Disease)のことです。呼称は英語圏に限らず世界共通で用いられており、3ヶ月以上続く腎機能や腎臓の解剖学的あるいは組織学的な異常の総称です。慢性腎不全や慢性糸球体腎炎、糖尿病(性)腎症、腎硬化症、など軽重様々な慢性腎疾患、そしてもちろん慢性腎不全で透析や腎移植をうけている状態もCKDに含まれます。

わが国の透析患者数は現在約30万人と、人口あたりの患者数にすると国際的にみても最も多い国の1つですが、これはあくまでCKD患者のごく一部であり、CKDの総患数は1,330万人と推定されています。即ちわが国の大人8人に1人が罹患しているという高い有病率であり、しかも透析や腎移植にいたる以前の自覚症状のない段階から心臓病や脳血管疾患での死亡するリスクが高くなり、国民の健康の脅威となるという点で、CKDは糖尿病や高血圧に匹敵する新たな国民病といえます。

このように自覚症状がなく患者数が多い病気への対策を進める上では、社会的にその病気が広く認知されていることが不可欠な前提条件となります。ところがCKDという疾患概念が提唱されてすでに10年を経過し、この間国内各地でさまざまな啓発普及活動が行われてきたにもかかわらず、この病気を知らない人がまだまだ多いため、私たちは2011年7月にCKD認知度向上が急務と考える医療界内外の多くの方々の支援を得て、RAV-CKD(Research Unit for Awareness Video of CKD)を立ち上げました。

CKDの認知度に関しては、これまでは健康診断

受診者や、CKDに関する公開市民講座受講者、あ るいはインターネット上の健康情報サイト訪問者 を対象としたアンケート調査しかなく、それでも 30%程度と低い数字だったのですが、一般国民の 認知度調査のデータがありませんでした。そこで RAV-CKD が昨春横浜市および宇都宮市で街頭ア ンケート調査を実施したところ、CKDの一般認知 率が4%と、遅れて提唱されたメタボリック症候 群の認知度90%以上と比べてもきわめて低率であ ることが明らかとなりました。有病率が大人8人 に1人なのに、CKDの認知率が4%ということは、 CKD にかかっている人の少なくとも 2/3 は、CKD という病気の名前すら知らないということです。 CKD の認知率向上のためには、従来の啓発活動の 継続だけではなく、RAV-CKD のような新しい広 報手法を模索する必要があることは間違いないと 確信した次第です。

ただしインターネット動画による健康啓発は、動画制作と公開だけでは広がりは期待できません。いくら動画がわかりやすくまた重要な健康情報を提供していても関心のない人は見ないからです。したがって関心のない人への情報を届ける広報戦略がきわめて重要なのですが、国内はもとより海外を見渡しても、健康啓発における効果的な広報手法については規範となる先例がなく、RAV-CKDは「研究会」として、試行錯誤繰り返している状況です。

それでも昨秋までに公開した CKD 啓発動画は 6本となり(図1)、閲覧者数も CKD 関連のイン ターネット動画としては国内では群を抜き世界的 にもトップクラスとなり、動画全体の総再生回数 が2万9千回近くとなったことから見て、この手 法による啓発が従来の方法ではアプローチできな かった対象にアピールしていることが窺えます。

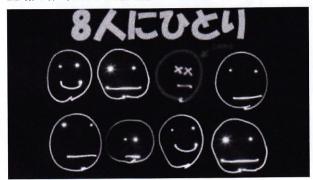
費用対効果という点でも、厳密な比較はできないものの、従来の公開市民講座あるいは、TV、新聞などのマスメディアでの広告とくらべて、小規模予算での実施が可能であり、また公開している限り啓発効果が継続する点が大きなメリットと思われます。

閲覧者を10万人~100万台へとふやしCKD認知度向上に大きく貢献するには、動画制作、広報、資金調達、支援拡大、いずれにもまだまだ解決しなくてはならない多くの課題があるのは間違いありませんが、このような手法開発はCKDに限らずさまざまな保健・医療情報提供に適用できることもあり、今後も引き続き活動を継続・拡大してゆきたいと考えております。

詳しくは、携帯電話等で、右記のモバイルサイト用QRコードにアクセスするか、パソコンからインターネットを通じて、これらの啓発用動画をご視聴ください。

検索キーワードは「CKD ぴかぴか」です。

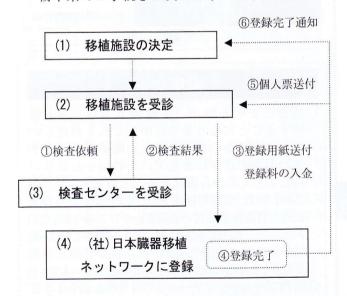
図1 RAV-CKD が制作・公開した CKD 啓発動画の一部 2a 第1作(ぴかぴか動画編)



献腎移植希望の登録について

献腎移植を希望する場合、社団法人日本臓器 移植ネットワークに登録しなければなりません。

栃木県での手続きは次のようになります。



(1) 移植施設の決定 (栃木県の場合)

- ◆自治医科大学附属病院 腎臓センター外科 TEL 0285-44-2111
- ◆獨協医科大学病院 第二外科 TEL 0282-86-1111
- ・透析の担当医師とよく相談し、紹介状を書いてもらいます。

●パソコンからは下記のキーワードで検索!

CKD ぴかぴか

検索

●スマートフォン、携帯電話からは 右のQRコードを読み込んでアクセス!



2b 第5作(とちおとめ 25編)



(2) 移植施設を受診

健康保険証、身体障害者手帳、紹介状を 持参し受診します。

- (3) 検査センターを受診 (栃木県の場合)
 - ◆自治医科大学附属病院 輸血·細胞移植部
 - ◆獨協医科大学病院 臨床検査部
 - ・組織適合検査(採血のみ)を行います。
 - ・検査費用は施設によって異なりますが、 4万円前後です。
 - ・<u>検査費用の助成制度があります。栃木県臓</u> 器移植推進協会が申請窓口となります。
- (4) (社) 日本臓器移植ネットワークに登録
 - ・登録料は3万円です。次の年からは更新料として毎年5千円かかります。
 - ・登録料及び更新料は医療費控除の対象となります。
 - ・生活保護世帯の方や生活保護世帯以外の生 活困窮者の方は費用が減免になります。

詳しくは、(社)日本臓器移植ネット ワークのパンフレットをご覧ください。

○情報検索

日本臓器移植ネットワーク http://www.jotnw.or.jp 栃木県医師会

http://www.tochigi.med.or.jp

栃木県ホームページ

http://www.pref.tochigi.lg.jp/index